

場所のヒエラルキーと移動  
—現代ソウルにおける日本人観光の変容

金成 玫 (北海道大学)  
kim@imc.hokudai.ac.jp

1. 場所の消費をめぐる<sup>リストラクチャリング</sup>再構造化 (restructuring) のプロセス

- ① 空間の再編成 (reorganizing space)  
: 境界の再設定、開発、権力構造の転換、資本・人口の移動
- ② 場所-アイデンティティの再構築 (reconstructing place-identity)  
: 場所の再認識、場所間ヒエラルキーの形成、場所性による社会意識の変容
- ③ 場所イメージの生産と消費 (producing and consuming place-image)  
: メディア・大衆文化による表象、記号をめぐる闘争、訪問者・観光者による消費

2. 戦後ソウルにおけるポストコロニアルな観光空間の形成

- ・ ポストコロニアルな権力構造と空間形式
- ・ 「65年体制」における観光空間の形成  
「キーセン観光」の企画・媒介・遂行構造
- ① 日米韓の戦後的関係におけるアメリカの役割
- ② 韓国の開発主義による形式的合理性に基づいた観光開発
- ③ 日本の中核的役割と「朝鮮的なもの」にたいする日本人のまなざし

3. 「江南」の誕生と現代ソウルの再構造化

- ・ <sup>カンナム</sup>江南開発による空間の再編成
- ① <sup>ヘンガン</sup>漢河を中心とした境界の再設定→国土の再組織化
- ② 資本・人口の移動と「<sup>マルチュク</sup>マルチュク通りの神話」(不動産バブルと新興財閥)

③ 経済的基盤による中心性の移動→権力構造の転換

・ <sup>カンナム</sup>江南の成長によるソウルの場所性の変容

- ① 不動産市場による生活の空間的基盤の変容
- ② 場所間ヒエラルキー：江北→江南
- ③ 中流階層意識の形成と消費による階級意識
- ④ 場所-アイデンティティをめぐる新たなソナショナリズムの台頭→米軍基地と梨泰院に対する意識と感情の変容→基地の移転に合意（新たな空間的再編成へ）

・ <sup>カンナム</sup>江南イメージの生産・消費とメディア

- ① メディアのまなざしと新たなイメージの生産
- ② 場所イメージの生産・再生産
  - \* メディアによる社会的言説の形成（「狎鷗亭文化論」「オレンジ族論」など）
  - \* テレビ、映画、大衆音楽、文学などによる表象
- ③ 場所の記号と表象としての日本とアメリカ
  - \* ポピュラー文化の流通と消費：ラップ音楽、ファッション
  - \* 日本の衛星テレビ、レコード、マンガ、日本語看板、日本風居酒屋←禁止されていたものの展示・消費
- ④ ソウルの場所イメージの変容：グローバル的なものとローカル的なものの混淆
- ⑤ 訪問者による場所の消費とイメージ構築：若者、日本人観光客、アメリカ移民3世→文化的象徴としての「江南」の誕生

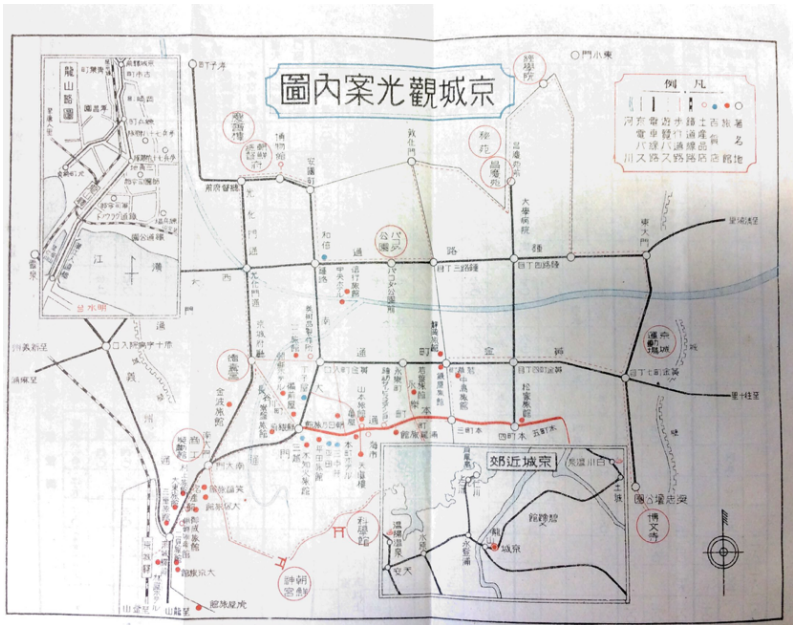
4. 現代ソウルの再構造化と日本人観光の変容（1980年代後半以降）

- ① 「65年体制」的空間、移動、場所の構造の変容
- ② メディアによる韓国観と韓国像の変容：テレビ、雑誌、旅行ガイドなど
- ③ 旧都心を中心とする「朝鮮的なもの」への親近感→江南を中心とする「韓国的なもの」への親近感
- ④ 観光者の変容：個人、女性、若者の増加
- ⑤ 場所イメージ、社会意識、訪問者の消費が交えた<sup>カンナム</sup>江南の文化的混淆性の形成・消費→再構築されたソウルの場所性に対する認識とまなざしの変容

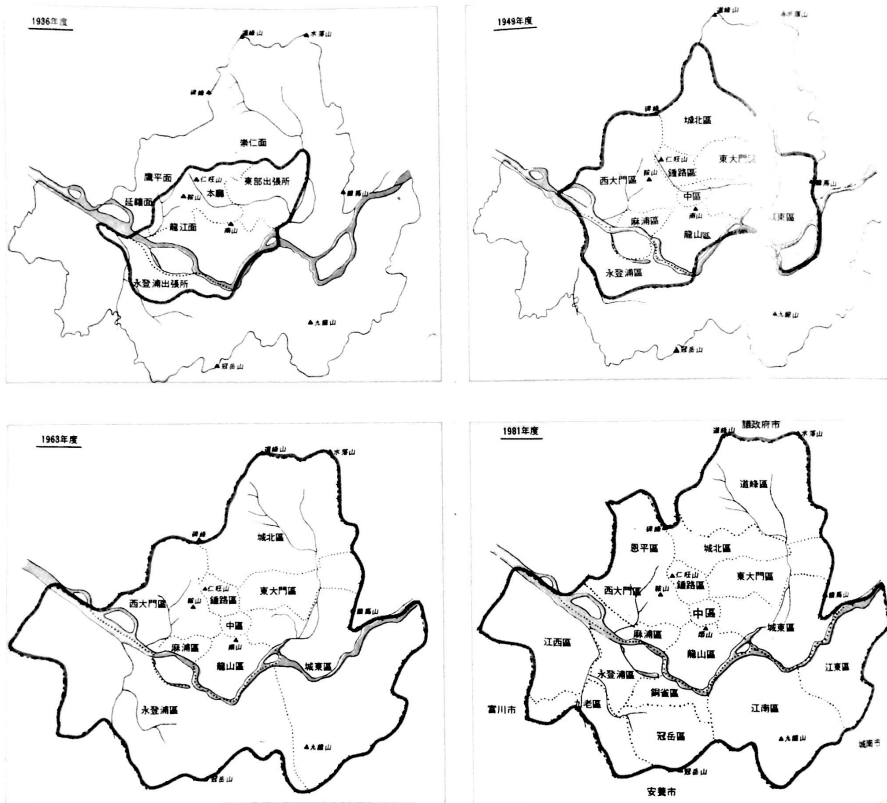
<参考資料>



1913年の京城と龍山（韓国国立中央図書館所蔵）

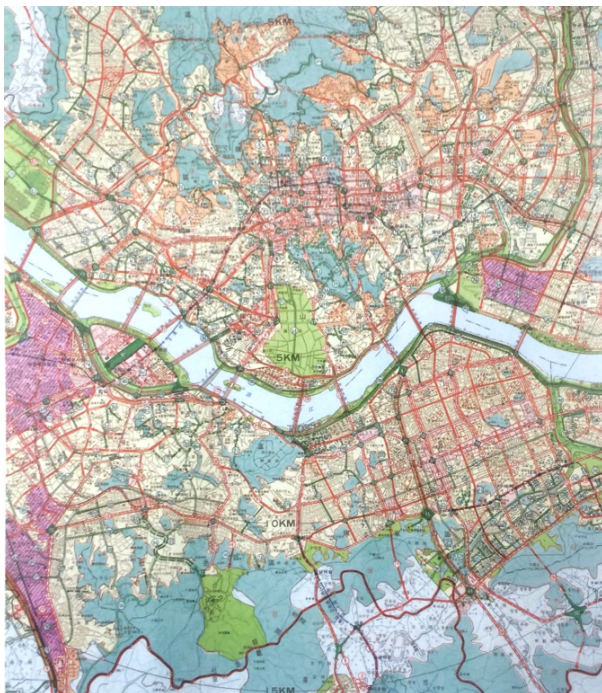


（京城観光協会『観光の京城』1937年）



分圖 45. 서울行政區域變遷圖(圖版 72의 部分) Changed map of Districts of Seoul city (Detail of the plate No. 72, 1936 · 1949 · 1963 · 1981 A.D.)

ソウルの行政区域変遷図（左上から 1936 年、1949 年、1963 年、1981 年）（韓国国立中央図書館所蔵）



江南開発後のソウル地図（韓国国立中央図書館所蔵）